平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場会社名　フランスベッドホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　7840　URL　http://www.francebed-hd.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 池田　茂
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務経理グループ担当　(氏名) 星川　光太郎　TEL 03-6741-5501
四半期報告書提出予定日　平成25年11月12日　配当支払開始予定日　平成25年12月6日
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　有
四半期決算説明会開催の有無　:　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	25,637	3.4	1,181	28.9	1,167	31.4	626	8.3
25年3月期第2四半期	24,771	3.6	916	39.0	887	40.4	578	161.2

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　651百万円　(41.3%)　25年3月期第2四半期　460百万円　(81.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	2.86	—
25年3月期第2四半期	2.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	58,300	36,380	62.4
25年3月期	61,021	36,208	59.3

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　36,380百万円　25年3月期　36,208百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	1.75	—	2.25	4.00
26年3月期	—	2.25			
26年3月期(予想)			—	2.25	4.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,600	5.4	2,800	37.0	2,750	36.2	1,460	29.1	6.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

（注）特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間より、連結子会社でありました France bed International (Thailand) Co.,Ltd. を連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	224,487,500 株	25年3月期	224,487,500 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	6,109,927 株	25年3月期	6,109,026 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	218,377,955 株	25年3月期2Q	218,964,012 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、平成25年11月29日（金）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料及び動画については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(1) 経営成績に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(2) 財政状態に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
３．四半期連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(1) 四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
（継続企業の前提に関する注記）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
（セグメント情報等）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間（以下「当期」という。）におけるわが国経済は、政府による経済対策及び金融政策の効果により、株価の回復や円高の是正など景気回復に向けた兆しが見られたものの、新興国経済の減速懸念などにより、依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境のなかにあって、当社グループでは、増加していく介護ニーズを取り込んでいくため、メディカルサービス事業に経営資源を投下していくとともに、インテリア健康事業においても、高機能・高付加価値商品の販売に注力していくことで、グループ全体の収益の拡大を図ってまいりました。

また、アクティブシニアの方々を対象とした新ブランド「リハテック」商品につきましては、両事業の商品開発力を活かして製品化するとともに、両事業の保有する販路も活用しながら、市場への浸透を図ってまいりました。

このような状況のもと、当社グループの当期における業績は、売上高は25,637百万円 （前年同四半期比3.4%増）、営業利益は1,181百万円（前年同四半期比28.9%増）、経常利益は1,167百万円（前年同四半期比31.4%増）、四半期純利益は626百万円（前年同四半期比8.3%増）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

① メディカルサービス事業

メディカルサービス事業においては、介護保険の給付額が増加している福祉用具貸与事業分野に対して、人員の増強を行うことなどにより、レンタルを中心とした売上の拡大を図りました。

新商品として、床ずれに不安を抱える多くの方が利用できるよう開発された床ずれ防止マットレス「Sofwa（ソフワ）」や、一般家庭用ベッドのシングルサイズ幅と同じ970ミリメートル幅のマットレスを採用し、利用者の方がゆったりと過ごせる電動介護ベッド「ＦＢＮ－ＰＪＪ９７　ＳＵ」などの拡販に注力し、顧客数の拡大に努めてまいりました。

また、「リハテック」ブランド商品につきましては、自立歩行ができる方の外出をサポートする「Ｒ・active（ラクティブ）」や、歩行が困難な方の歩行を補い、歩行訓練や歩行の安定性向上につながる自動抑速ブレーキ付歩行車「スマートウォーカー」の展開を開始し、新たな売上の獲得を図るとともに、介護支援専門員や代理店を対象とした研修会や商品説明会を開催し、テレビコマーシャルの放映などを継続することで、認知度の向上やブランドイメージの定着を図ってまいりました。

病院・福祉施設等に対しましては、利用者がベッドから転落した際のリスクと介護者の負担を軽減する「超低床フロアーベッド　ＦＬＢ－０３」の販売を行うとともに、営業員研修による戦力化に努めてまいりました。

以上の結果、メディカルサービス事業の売上高は13,540百万円（前年同四半期比1.3%減）、営業利益は879百万円（前年同四半期比6.5%増）となりました。

② インテリア健康事業

インテリア健康事業においては、良質な睡眠や、自らのライフスタイルにこだわりを持っている消費者のニーズに応えるべく、これまでに引き続き、高性能・高付加価値商品を市場に投入し、販売に注力することで、収益力の向上に努めてまいりました。

優れた体圧分散性と通気性を実現して快適な寝心地を提供する「リハテックマットレス」や、マットレス自体が電動でリクライニングする「ルーパームーブ」を市場に投入するなど、新たな需要の喚起に取り組むことによってマットレスの単価アップを図るとともに、家庭用高級ベッドのデザイン性と医療・介護用ベッドの機能性を融合させた、アクティブシニア向けの高品質な電動リクライニングベッドシリーズなどの継続的な販売促進に努めてまいりました。

また、従前から取引のある家具専門店や、新規に取引を開始する異業種に対して、「電動アシスト三輪自転車」やハンドル型電動車いす「Ｓ１４１」などの試乗会をはじめ、「リハテック」ブランド商品の促進を働きかけてまいりました。

以上の結果、インテリア健康事業の売上高は10,151百万円（前年同四半期比10.3%増）、営業利益は323百万円（前年同四半期比373.9%増）となりました。

③ その他

戸別訪問販売事業においては、従前からの戸別訪問販売に加え、ショールームでの販売に注力することにより、売上高の確保に努めてまいりました。

また、日用品雑貨販売事業においては、取扱商品の見直しや店舗のスクラップ＆ビルドを継続して実施してまいりましたが、厳しい状況のまま推移いたしました。

以上の結果、その他の売上高は1,945百万円（前年同四半期比5.6%増）、営業損失は32百万円（前年同四半期は営業利益５百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）と比較して2,720百万円減少し58,300百万円となりました。流動資産は前期末と比較して2,260百万円減少し32,000百万円となりました。主な要因は、たな卸資産518百万円の増加に対し、有価証券1,500百万円、受取手形及び売掛金1,222百万円の減少などによるものであります。固定資産は前期末と比較して522百万円減少し26,225百万円となりました。主な要因は、１年基準（ワンイヤールール）適用となる定期預金600百万円の流動資産への振替などによるものであります。

（負債）

負債は、前期末と比較して2,892百万円減少し21,920百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金739百万円、ファクタリング未払金374百万円、未払法人税等799百万円、長期未払金768百万円などの減少によるものであります。

（純資産）

純資産は、前期末と比較して172百万円増加して、36,380百万円となりました。主な要因は、増加については四半期純利益626百万円などであり、減少については、剰余金の配当491百万円などによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、前期末の59.3%から62.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第２四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、現金及び現金同等物残高が前期末と比較して1,502百万円減少（連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の減少85百万円含む）し、10,082百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、614百万円の収入（前年同四半期は2,980百万円の収入）となりました。主な要因として、収入については、税金等調整前四半期純利益1,155百万円、売上債権の減少1,247百万円などによるものであり、支出については仕入債務の減少730百万円、確定拠出年金制度への移換金781百万円、法人税等の支払額768百万円などによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,421百万円の支出（前年同四半期は1,551百万円の支出）となりました。主な要因は、定期預金の払戻500百万円の収入に対し、有形固定資産の取得1,749百万円、無形固定資産の取得174百万円などの支出によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、609百万円の支出（前年同四半期は859百万円の支出）となりました。主な要因は、社債発行に関わる費用71百万円、配当金の支払額490百万円などの支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年５月15日付「平成25年３月期決算短信」にて公表した業績予想につきましては変更ありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第１四半期連結会計期間より、連結子会社でありましたFrance bed International (Thailand) Co.,Ltd.を連結の範囲から除外しております。

３．四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成25年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,084	7,183
受取手形及び売掛金	11,083	9,860
有価証券	5,998	4,497
商品及び製品	5,428	5,683
仕掛品	434	430
原材料及び貯蔵品	1,862	2,129
その他	2,381	2,225
貸倒引当金	△13	△11
流動資産合計	34,260	32,000
固定資産		
有形固定資産		
土地	6,413	6,413
その他（純額）	9,291	9,436
有形固定資産合計	15,705	15,849
無形固定資産	990	943
投資その他の資産		
前払年金費用	5,914	6,185
その他	4,137	3,247
投資その他の資産合計	10,052	9,432
固定資産合計	26,747	26,225
繰延資産	12	74
資産合計	61,021	58,300
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,806	3,066
ファクタリング未払金	2,335	1,961
短期借入金	1,650	1,650
1年内償還予定の社債	3,150	―
1年内返済予定の長期借入金	―	900
未払法人税等	925	126
賞与引当金	1,191	1,230
その他の引当金	57	32
その他	4,452	4,309
流動負債合計	17,568	13,276
固定負債		
社債	400	3,550
長期借入金	2,000	1,100
退職給付引当金	756	705
その他の引当金	479	494
資産除去債務	24	24
その他	3,583	2,769
固定負債合計	7,244	8,643
負債合計	24,813	21,920

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成25年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	1,867	1,867
利益剰余金	32,451	32,574
自己株式	△1,229	△1,229
株主資本合計	36,089	36,212
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	143	179
繰延ヘッジ損益	0	△11
為替換算調整勘定	△25	－
その他の包括利益累計額合計	118	168
純資産合計	36,208	36,380
負債純資産合計	61,021	58,300

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第２四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日)
売上高	24,771	25,637
売上原価	13,474	13,702
売上総利益	11,297	11,934
販売費及び一般管理費	10,380	10,752
営業利益	916	1,181
営業外収益		
受取利息	7	5
受取配当金	11	11
受取補償金	10	17
その他	43	38
営業外収益合計	73	72
営業外費用		
支払利息	47	43
その他	54	43
営業外費用合計	101	86
経常利益	887	1,167
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	0	―
保険差益	399	―
その他	7	―
特別利益合計	407	0
特別損失		
固定資産除却損	14	11
投資有価証券評価損	0	―
災害による損失	213	―
特別損失合計	227	11
税金等調整前四半期純利益	1,067	1,155
法人税、住民税及び事業税	453	105
法人税等調整額	36	423
法人税等合計	489	529
少数株主損益調整前四半期純利益	578	626
四半期純利益	578	626

(四半期連結包括利益計算書)
(第２四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	578	626
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△121	36
繰延ヘッジ損益	9	△12
為替換算調整勘定	△5	－
その他の包括利益合計	△117	24
四半期包括利益	460	651
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	460	651
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,067	1,155
減価償却費	1,840	1,805
固定資産売却損益（△は益）	△0	△0
固定資産除却損	12	6
投資有価証券売却損益（△は益）	△0	－
投資有価証券評価損益（△は益）	0	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△7	△3
賞与引当金の増減額（△は減少）	11	39
退職給付引当金の増減額（△は減少）	93	△51
前払年金費用の増減額（△は増加）	△35	△270
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△5	14
災害損失引当金の増減額（△は減少）	58	△2
その他の引当金の増減額（△は減少）	△0	△22
受取利息及び受取配当金	△19	△16
支払利息	47	43
災害損失	154	－
保険差益	△399	－
売上債権の増減額（△は増加）	1,522	1,247
たな卸資産の増減額（△は増加）	△220	△522
仕入債務の増減額（△は減少）	△737	△730
ファクタリング未払金の増減額（△は減少）	△68	△374
確定拠出年金移行に伴う未払金の増減額（△は減少）	－	△781
未払費用の増減額（△は減少）	△93	15
その他	△170	△142
小計	3,050	1,409
利息及び配当金の受取額	20	16
利息の支払額	△47	△42
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	19	△768
災害損失の支払額	△63	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,980	614

(単位:百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,100	―
定期預金の払戻による収入	2,100	500
有価証券の取得による支出	△999	△999
有価証券の償還による収入	999	999
有形固定資産の取得による支出	△1,412	△1,749
有形固定資産の売却による収入	0	0
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	100	―
その他の関係会社有価証券の取得による支出	△103	―
貸付けによる支出	△20	△0
貸付金の回収による収入	4	2
無形固定資産の取得による支出	△120	△174
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,551	△1,421
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△50	―
社債の発行による収入	―	3,078
社債の償還による支出	―	△3,150
自己株式の取得による支出	△312	△0
セール・アンド・リースバックによる収入	712	729
リース債務の返済による支出	△824	△778
配当金の支払額	△384	△490
財務活動によるキャッシュ・フロー	△859	△609
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	566	△1,416
現金及び現金同等物の期首残高	9,957	11,584
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	―	△85
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,523	10,082

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

セグメント情報

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第２四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年９月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	メディカルサービス	インテリア健康	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,727	9,202	22,930	1,841	24,771	－	24,771
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	255	256	46	302	△302	－
計	13,728	9,458	23,186	1,887	25,074	△302	24,771
セグメント利益	825	68	893	5	899	16	916

当第２四半期連結累計期間（自平成25年４月１日　至平成25年９月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	メディカルサービス	インテリア健康	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,540	10,151	23,691	1,945	25,637	－	25,637
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	298	302	64	367	△367	－
計	13,544	10,449	23,994	2,010	26,004	△367	25,637
セグメント利益又は損失（△）	879	323	1,202	△32	1,170	11	1,181

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、戸別訪問販売、日用品雑貨販売、展示会設営及び不動産賃貸等の事業を含んでおります。

２．調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益　（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間	当第２四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	393	378
全社費用※	△376	△367
合計	16	11

※　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。